




## 【家庭教育支援チーム】

<p>チーム名 (呼称)</p> 	<p>青梅市 家庭教育支援チーム (呼称: 特定非営利活動法人 青梅こども未来)</p> <p>E-mail <a href="mailto:info@kodomomirai-ome.com">info@kodomomirai-ome.com</a>          URL <a href="http://kodomomirai-ome.com/index.html">http://kodomomirai-ome.com/index.html</a>          ホームページ <a href="http://www.kodomomirai-ome.com">www.kodomomirai-ome.com</a>          ブログ <a href="http://blog.kodomomirai-ome.com">http://blog.kodomomirai-ome.com</a></p>
<p>活動開始年度</p>	<p>2002(平成14)年度</p>
<p>活動拠点</p>	<p>青梅こども未来館・青梅市子育て支援センター“はぐはぐ” 青梅市内 市民センター ・他</p>
<p>活動範囲</p>	<p>東京都・埼玉県・神奈川県 等</p>
<p>活動財源</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業)  <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業)  <input type="checkbox"/> 労働省事業(事業名 )  <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施  <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施  <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施          (青梅ボランティア・市民活動センター: 青梅ボランティア活動等助成金          公益財団法人ソプロチミスト日本財団 青梅市市民提案協働事業          西武信用金庫街づくり活動助成金) 事業の参加者からの会費          行政委託による事業</p>
<p>組織体制</p> 	<p>52人 (以下の資格取得者が在籍)</p> <p>保育士14人・幼稚園教諭17人・小学校教諭7人・中・高教諭10人          小・中養護教諭1人・司書教諭2人・おもちゃインストラクター24人          おもちゃコンサルタント4人・おもちゃコンサルタントマスター2人          木育インストラクター2人・ネイチャーゲームリーダー1人          アクティビティインストラクター2名・アクティビティディレクター1名          折り紙講師2人・CAPスペシャリスト6人・NPファシリテーター1人          BPファシリテーター7人・子育てアドバイザー1人・食育指導士1名 他</p>
<p>具体的な活動内容</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 講座型    <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型    <input type="checkbox"/> 訪問型    <input type="checkbox"/> 総合型    <input type="checkbox"/> その他 ( )</p>



### 【活動内容】

- ・子育て、子育てに関する様々な情報を備え、親子で安心してくつろげる場、相談や学習・サークル活動等しながら親子の交流ができる場、小中学生が集える場としての「青梅こども未来館」の開設
- ・ホームページ、ブログ、フェイスブック、ニュースレター等による子育て・子育て情報を広く提供する広報活動
- ・子ども達が自らの心身の安全を確保するために有効な CAP(子どもへの暴力防止プログラム)ワークショップの実施(青梅市・川崎市)とその普及活動
- ・生後2～5ヶ月の第一子を育てる母親のための、育児不安の解消、赤ちゃんとの関わり方を学び親子の絆を深め、仲間づくりも出来る育児講座 BP(ベビープログラム)「赤ちゃんがきた～思春期から花開く0歳時期の育児」の開催
- ・乳幼児親子のための市内7ヶ所での「親子スキンシップサークル」の開催
- ・年長～小学3年生までの運動教室(飛ぶ教室)の開催
- ・年長～小学生、支援学級に通う小中学生のための学習サポート・遊び等の寺子屋風居場所(Vivoくらぶ)の開催
- ・妊婦・子ども連れで参加出来る女性のためのストレッチ教室(チョコ美)とシニア世代の女性向けストレッチ教室(Madam チョコ美)の開催
- ・青梅市の指定管理者として「青梅市子育て支援センターはぐはぐ」の運営管理(青梅市子育て世代包括センターの一環としての「遊び場の提供・子育てに関する情報提供・相談事業」)
- ・青梅市より委託を受け子育て広場(おひさま広場)の開催
- ・青梅市からの委託を受け市内8ヶ所での乳幼児親子のための教室の開催
- ・青梅市内の市民センターで開催される「子育て広場」へのスタッフ派遣
- ・青梅市より委託を受け市内の他の子ども関連の NPO との協働による学童のための居場所(子どもサロン・すきっぷ)を開設し「アナログゲーム広場」や乳幼児親子のための「木育ひろば」「手作りおもちゃ」等を提供
- ・青梅市内小学校の放課後子ども教室推進事業「夕焼けランド」のコーディネーターとスタッフの派遣
- ・市内の都立高校における保育の授業・テーブルコーディネート授業の市民講師
- ・青梅市教育委員会社会教育課との共催による家庭教育講演会等の子育て、子育てのための啓蒙・啓発講座の開催
- ・青梅市教育委員会社会教育課との協働による0～3歳児親子対象の参加型体験イベント(あつまれ! 0123☆ちびっこランド)の開催
- ・青梅市立総合病院・埼玉医科大学総合医療センターにおける「病児のためのおもちゃの広場」の開催
- ・青梅市主催の講座・講演会・公演時、市内小学校 PTA 運営委員会時の集団託児
- ・行政関連委員会の委員として以下の会議に出席  
青梅市教育委員会・青梅市社会教育委員会・青梅市障害者地域自立支援協議会・青梅市人権擁護委員会・男女平等情報誌編集委員会・

	<p>青梅ボランティア市民活動センター運営委員会  青梅市協働事業市民推進委員会・子育てひろば連絡会・子育て子育て関係 NPO3 団体連絡会・青梅市立新町小学校運営連絡協議会  青梅市立新町中学校運営連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内子育て関連 NPO との連携、青梅市社会福祉協議会行事への参加、</li> <li>・公共施設建設設計案への意見(パブリックコメント)の提出等を通し、市民の立場から「より良い子育て環境づくり、街づくり」のための進言</li> </ul>
<p><b>活動の成果</b></p>  	<p>「この街で子育てできて良かった!」と思える街づくり」を目指し活動を続け15年が経過。</p> <p>この間、実績に甘んじることなく、常に世の中の流れや社会が抱える問題に向き合い「今、何をやるべきか」「今、何が必要とされているか」を考え行動している。</p> <p>① 切れ目のない応援体制を確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての出産での育児不安と孤立を防ぎ、仲間作りや相談できる場の設定</li> <li>・0歳児からの乳幼児と保護者のための居場所と相談・子育て応援活動の実施</li> <li>・学齢期の子ども達への、家庭や学校とは異なる信頼できる大人との第三の居場所の設定</li> <li>・保育士を目指す高校生たちへの市民講師派遣と研修の場の提供</li> <li>・大学生たちの研修受け入れと、ボランティア活動の場の提供</li> <li>・シニア世代に向けた、仲間作りと健康維持のための活動の実施</li> </ul> <p>②行政及び他団体との協働事業の推進</p> <p>③国や市の子育て・子育て関連の各種協議会・委員会の委員を担い、様々な提言を発信</p>
<p><b>活動において苦労した点や課題</b></p>	<p>① 運営面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な運営のための、十分な活動費と人員の確保</li> <li>・委託事業、協働事業等での行政・他団体との折衝や関係作り</li> <li>・利用者の安心安全を第一に考えた企画運営を心掛ける。そのためにもチーム内での報告・相談・連絡を確実に実行する</li> <li>・スタッフの持つ資格や特技を活かしての「やってみたい」を企画段階からサポートし、実現できる機会を積極的に設ける</li> </ul> <p>② スタッフ同士の研鑽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ごとにチーム体制を整え、運営の責任を担いながら互いに切磋琢磨し合う</li> <li>・個々には自らの子育てや介護等の諸事情はあるものの、法人の一員としての自覚を持ち、常に緊張感を持って対応する</li> <li>・自身の健康維持を優先して考えられる</li> </ul>

**今後の活動目標**



子どもや親の孤立を防ぎ、安心して過ごせる機会や居場所を増やす・「あの人なら話を聞いてくれるかもしれない」「相談してみよう」と思えるような地域の大人を増やす・思いを同じくする仲間を増やすこと等、『地域ぐるみの子育て・子育て支援体制』を整えていけるよう、若い世代の声に耳を傾け、同時にシニア世代が元気に子育て応援出来る『システムづくり』と、そのための運営資金の確保にもさらに力を入れていきたい。

**問合せ先**

(代表者氏名) 横手 多喜子

(住所) 〒198-0042

東京都青梅市東青梅1-7-7

(TEL)0428-25-2578 (携帯)080-3313-2578

※上記受付時間=10時~16時

(E-mail) info@kodomomirai-ome.com